

1. 組織名

大分県商工労働部

2. 提出意見①

該当する交渉分野

物品市場アクセス

意見

経済発展のためにはアジア太平洋地域の経済成長を取り込む必要があるが、農林水産業をはじめ大きな影響が心配される分野もあることから、国民が納得できるように情報や対策を国民に示し、守るべきは守り、攻めるべきは攻めて国益を最大限に確保すべきである。

このため、国民に対する十分な情報提供と丁寧な対話に努めるとともに、物品市場アクセス分野における重要5品目(米、麦、牛肉・豚肉、牛乳・乳製品、甘味資源作物)については、関税撤廃の対象から除外するなど、本県の基幹産業である農林水産業が引き続き再生産可能となるよう配慮すること。また、国益が十分に確保できないと判断した場合は、脱退も辞さないものとするを求める。

さらに、TPP交渉の行方にかかわらず、農林水産業が将来にわたって持続的に発展していけるよう、具体的な対策を講じるとともに、その内容を早期に示すこと。

3. 提出意見②

該当する交渉分野

物品市場アクセス

意見

医療関連産業は、今後、一層発展し、需要が拡大する可能性を秘めた産業分野であり、国の「新成長戦略」においても成長牽引産業として位置づけられている。

大分県から宮崎県にかけての東九州地域には、有力な血液や血管に関する医療機器を製造する企業が多数立地しており、平成22年10月に宮崎県と共同で、「東九州地域医療産業拠点構想(通称;東九州メディカルバレー構想)」を策定した。平成23年12月には、地域活性化総合特別区域の指定を受け、医療機器も含めた幅広い医療産業の一層の集積を目指している。

医療機器の輸出入については、日本への輸入関税は無税であるが、輸出参加国には関税をかけている国がある。医療機器の輸出増加につなげるため、参加国全ての関税撤廃を働きかけていただきたい。

※ 同一の交渉分野について、2つ以上意見等を提出される場合は、「提出意見」の行をコピーの上、行を追加願います。

※ 異なる交渉分野について、意見等を提出される場合は、シートを分けて記入・提出願います。

1. 組織名

大分県商工労働部

2. 提出意見①

該当する交渉分野

貿易円滑化

意見

医療関連産業は、今後、一層発展し、需要が拡大する可能性を秘めた産業分野であり、国の「新成長戦略」においても成長牽引産業として位置づけられている。

大分県から宮崎県にかけての東九州地域には、有力な血液や血管に関する医療機器を製造する企業が多数立地しており、平成22年10月に宮崎県と共同で、「東九州地域医療産業拠点構想(通称;東九州メディカルバレー構想)」を策定した。平成23年12月には、地域活性化総合特別区域の指定を受け、医療機器も含めた幅広い医療産業の一層の集積を目指している。

日本製品の市場拡大に繋げるため、医療機器の開発と輸出にあたって、参加国間のデバイスラグ短縮を働きかけていただきたい。